

1. 基本情報

評価対象年度 (令和4 年度)

施策コード	124	施策名	郷土文化の保全・継承
将来像	1	安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)	
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち	
担当部	経営政策部	担当課	シティプロモーション課

2. 施策の方向

10年後の姿	清瀬の歴史への理解が深まり、誇りと愛着が生まれています。また、次世代に清瀬の歴史と文化が継承されています。		
施策の方向性	1	市民が郷土文化にふれ、清瀬への愛着と誇りを高める環境を整備します	
	2	市の歴史や文化を次世代に継承します	
	3	学校教育での郷土博物館の資料や人材の活用を推進します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
市史編さん事業	2	シティプロモーション課	17,233
博物館事業	1、2、3	シティプロモーション課	7,350
文化財保全事業	1、2、3	シティプロモーション課	650
旧森田家運営管理事業	1、2、3	シティプロモーション課	959
小学校教育指導事業	1	教育指導課	18,568
中学校教育指導事業	1	教育指導課	11,473
総事業費(施策の合計)			56,233

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	博物館事業へ参加し、その内容に満足していると答えた人の割合		目標値	-	95.0	95.0%	95.0%	96.0%
	説明	-	単位 %	実績値	94.8	92.8			
	抽出方法	所管課統計		達成率	-	97.7%			
②	名称	市の歴史や伝統文化、文化財等に関心があると思う人の割合		目標値	53.0	53.0	55.0	55.0	55.0
	説明	-	単位 %	実績値	45.0(※)	45.0(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	84.9%	84.9%			
③	名称	この一年で市内の伝統行事を見に行ったり参加したりしたことがある人の割合		目標値	32.0	32.0	35.0	35.0	35.0
	説明	-	単位 %	実績値	22.5(※)	22.5(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	70.3%	70.3%			

※②③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> ●博物館事業については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、年中行事に関する催しや自然観察会、講習会などを無事に開催することができた。 ●文化財保全事業については、文化財保護審議会を予定通り開催するとともに、市内文化財保護のため郷土芸能育成補助金の交付等を行った。 ●旧森田家の主屋を活用し、清瀬の伝統行事体験として「縄ない体験」と「下宿囃子の鑑賞・体験」を開催し、多くの方々にご参加いただいた。 ●市史編さん事業においては、『清瀬市史 6 資料編 現代』を刊行した。また、新たに結核療養編と民俗編を刊行するため、専門部会による調査活動を実施した。

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことに伴い、今まで中止や延期していた事業を再検討する。
-------------	--

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	市の歴史や伝統文化について市民の関心を高めるとともに、学校教育での資料活用を推進する。
	課題に対する令和6年度以降の取組	博物館収蔵品及び市史編さん過程等で収集した資料の整理・保存・公開を進めるとともに、市史や調査報告書の刊行を通じ、市民の歴史や文化への関心を高めていく。また、学校教育における資料活用を促すため、周知および連携を強化していく。
②	施策を進める上での課題	清瀬と結核療養の歴史に係る情報や資料等について、適切に保護・保全・活用を図る。
	課題に対する令和6年度以降の取組	清瀬市の近現代史の重要なテーマの1つである「結核療養の歴史」について、SNSや動画配信などを利用して国内外へ向け広く情報を発信するとともに、同様の自治体や事業者と連携し、「結核療養の歴史」について協力して保存を図っていく。
③	施策を進める上での課題	旧森田家の効果的な活用が課題となっている。
	課題に対する令和6年度以降の取組	旧森田家を活用し、清瀬の伝統文化体験などを開催するなど、施設を効果的に活用する。